

令和6年度

シラバス

～第3学年の学習について～



上尾市立上平中学校

【第3学年 国語】

国語科の学習でめざすこと

○ 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

- ・国語に対する関心・意欲を高める。
- ・話す力、聞く力、書く力、読む力を育成し、伝え合う力を高める。
- ・言葉に対する認識を深め言葉の力を付ける。
- ・物の見方や考え方を養う。

【知識・技能】

- ①常用漢字を読んだり、文や文章の中で使い慣れたりすること。
- ②話や文章の種類と、その特徴について理解を深めること。
- ③敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこと。
- ④情報の信頼性の確かめ方を理解し、使うこと。
- ⑤歴史的背景などに注意して読むことを通して、その世界に親しむこと。

【話すこと・聞くこと】

- ①相手意識、目的意識、場面意識をもって話したり、聞いたりする態度を身に付けること。
- ②目的や場面、自分の立場に応じて分かりやすく伝わるように、表現を工夫すること。
- ③進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり、深めたりすること。

【書くこと】

- ①目的や意図に応じて題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認して文章を構成すること。
- ②表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなどして、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるよう工夫すること。

【読むこと】

- ①文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。
- ②文章を読んで考えを広げ、人間、社会、自然などについて自分の考えを持つこと。

学習教材及び授業の進め方

使用教材	教科書 国語3 (光村図書) 中学書写 (光村図書) 副教材 よくわかる国語の学習3 (明治図書) 単元別漢字ノート3 (新学社) すらすら基本文法 (浜島書店)	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ノート、筆記用具 ・副教材、国語辞典 ・書写の道具
授業の進め方	<p>《授業について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを問う場や発表する場がたくさんあります。 ・ノート作りを大切にしてください。黒板に書かれた内容だけでなく、メモや振り返りを書いて、自分独自のノートを作りましょう。 ・話し合い活動を取り入れていく予定です。積極的に話し合うとともに、相手の話をよく聞いて自分の学習に生かしましょう。 <p>《定期テストについて》</p> <p>1学期1回(期末)、2学期2回(中間・期末)、3学期1回(学年末)合計4回の定期試験を行います。試験は総合問題です。各領域の出題比率は学期によって変わります。聞き取りテスト(「話す・聞く」領域)は、定期テストで行います。また、定期テスト以外に年3回の「校長会テスト」があります。また、単元を目安に漢字の書き取りテストや古文の暗記テスト等の小テストを行います。</p> <p>《家庭学習について》</p> <p>一番大切なのは教科書の音読です。教科書や読書用の本、新聞など、どんな文章でもすらすら読めるようにしましょう。次に漢字や語句の練習です。そして、副教材のワークなどの問題を解きましょう。時間に余裕がある人は、市販の問題集に取り組むこともお勧めします。</p>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の期限は必ず守り、忘れ物をしないようにしましょう。 ・話すときには単語だけでなく、主語や述語を意識して正しい言葉を使うように心がけましょう。 ・黒板に書かれた内容をノートに写すだけでなく、メモや振り返りなどを書いてまとめましょう。 ・グループ学習では、自分の考え方を知ると同時に、他人がどのように考えているかを学習しましょう。 		

学習内容

	学習内容
一学期	<ul style="list-style-type: none"> 世界はうつくしいと ・握手 ・季節のしおり 春 ・学びて時に之を習ふ―「論語」から 文章の種類を選んで書こう ・漢字1 熟語の読み方 作られた「物語」を超えて ・説得力のある構成を考えよう ・報道文を比較して読もう 俳句の可能性、俳句を味わう ・言葉1 和語・漢語・外来語 言葉を選ぼう―もっと「伝わる」表現を目指して 文法への扉1 すいかは幾つ必要? ・羊と鍋の森 ・読書案内 本の世界を広げよう 情報コラム ためになるってどんなこと? ・季節のしおり 夏
二学期	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶―原爆の写真によせて ・故郷 ・論理の展開を整える 人工知能との未来、人間と人工知能と創造性 ・言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字2 漢字の造語力 ・合意形成に向けて話し合おう ・音読を楽しもう 初恋 季節のしおり 秋 ・和歌の世界 ・古今和歌集 仮名序 君待つと―万葉・古今・新古今 ・夏草―「おくのほそ道」から 誰かの代わりに ・本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース ・文法への扉2 「ない」の違いがわからない?
三学期	<ul style="list-style-type: none"> 漢字3 漢字のまとめ ・読書案内 本の世界を広げよう ・季節のしおり 冬 温かいスープ ・わたしを束ねないで ・三年間の歩みを振り返ろう
<p>上記の教材を通じて、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について学習します。</p>	

学習計画及び評価について

		評価の観点（主なもの）	評価方法
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ①音声、語句、語彙、文法、漢字などに関する基礎や国語の特質を理解し、知識を身につけることができたか。 ②敬語や情報の正確さについて考え、適切に使うことはできたか。 ③歴史的背景などに注意しながら古典を読み、親しむことができたか。 	授業の取り組み ノート・ワークシート 作品 定期テスト
思考・判断・表現	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ①話したり、聞いたりする中で、自分のものの見方や考え方を深めることができたか。 ②目的や場面に応じ、説得力のある表現の仕方に心がけ話したり聞き取ったりすることができたか。 	授業の取り組み ノート・ワークシート 提出物 聞き取りテスト
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ①たくさんの材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして書くことができたか。 ②論理の展開を工夫して、説得力のある文章を書くことができたか。 	授業の取り組み ノート・ワークシート 作品 定期テスト
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ①目的や意図に応じてさまざまな文章を的確に読みとることができたか。 ②書き手の論理の展開の仕方をとらえながら文章を読み取り、内容の理解に役立てることができたか。 ③読むことを通して自分の意見をもつとともに広い範囲から情報を集め、効果的に活用できたか。 	授業の取り組み ノート・ワークシート 定期テスト
学習の主体的に取り組む態度		国語に対する関心を深めながら授業に参加できたか。 <ul style="list-style-type: none"> ①積極的に自分の意見や考えを発言できたか。 ②他人の意見をしっかり聞き、自分の考えを深めることができたか ③授業の中で、進んで話し合ったり、工夫して書いたり、読書ができたか。 ④国語の学習に真剣に取り組む生活に生かしていこうとしたか。 	授業の取り組み ノート・ワークシート 提出物

第3学年 社会科

1 社会科の学習で目指すこと

本校の社会科では、「社会的事象について気付いたり、まとめたりして表現する力」の育成を目指している。そのために次の2つの活動を積極的に授業の中に取り入れることを取り組んでいる。

- ①様々な資料（史料）から特徴をつかもうとする活動。
- ②互いに意見を言い（聞き）、それを土台に考える活動。

これらの活動をベースにして、積極的に社会的事象に関心を持ち、意欲的に考え、表現する力をつける。また、「資料（史料）に真剣に向き合うこと」「教えあったり、伝えあったりして学びを高めること」「学びの成果を発表し、互いに認め合うこと」を目指していく。

2 学習教材及び授業の進め方

使用教材	教科書 新しい社会歴史（東京書籍） 新しい社会公民（東京書籍） [中学社会科地図（帝国書院）] 副教材 歴史資料集 ワーク	持ち物	<歴史> 教科書、資料集、ノート、ワーク <公民> 教科書、資料集、ノート、ワーク
授業の進め方			
<基本的な授業の進め方> ①本時のテーマを把握する。 ②学習内容について、調べたり、話し合ったりして概要をつかむ。 ③調べたり、話し合ったことをまとめたり、発表したりする。 ④教員の説明を聞き、全体像を整理して要点を把握する。			
学習に関する心構え			
・授業の前日に、教科書を読むなどして、予習をすると授業がより理解しやすくなります。教科書は音読することが望ましいです。 ・授業のあとは、学んだことをノートにまとめたり、問題集に取り組んだりしましょう。 ・わからないこと教科書や資料集、地図帳、用語集などを使って、自分で調べる力をつけましょう。 ・ニュースを見たり新聞を読んだりする習慣をつけましょう。 ・定期テスト前は、次のことを必ずしましょう。 ①テスト範囲の教科書を音読する。 ②ノートの要点をまとめましょう。 ③重要用語は説明できるようになろう。④自分に合った+αの取り組みをしてみましょう			

3 学習内容とねらい

	学習内容	学習のねらい
1 学期	<p><歴史的分野></p> <p>第6章 二度の世界大戦と日本</p> <p>第7章 現代の日本と世界(～7月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代」と区分される時代の特色を、国際関係の変化の中に位置づけ理解する。 ・現代社会の特徴や課題について、歴史と結びつけて理解を深め、公民学習に結びつける。
2 学期	<p><公民的分野></p> <p>第1章 現代社会と私たち</p> <p>第2章 個人の尊重と日本国憲法</p> <p>第3章 現代の民主政治と社会</p> <p>第4章 私たちの暮らしと経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代[日本]社会の特色を、様々な面から多角的にとらえ、「公民」で、社会全体の仕組みを考えるための考え方の基礎を身につける。 ・基本的人権の重要性を知ると共に、日本国憲法の性質・意義を学び、結びつけて理解する。 ・「政治」の意味と意義を知り、国の政治の仕組み・地方公共団体の政治の仕組みを理解する。 ・社会の仕組みを経済的側面から考え、自分の生活と結びつけて理解する。
3 学期	<p>第5章 地球社会と私たち</p> <p>終章 よりよい社会をめざして</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会・世界の課題をつかみ、自分自身の生き方と結びつけて様々な課題の解決を考える。 ・中学校3年間の社会科の学習をふり返る。

4 学習評価の観点と評価規準等 ※今年度から全教科において3観点での評価となります。

評価の観点	評価規準・評価方法
<p>① 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的・公民的事象に関する基礎的な知識を身につけているか。 ・資料から必要な情報を選択、活用したりまとめたりすることができるか。 ・資料を読み取り適切な判断をしたり、考察したりすることができるか。 	<p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取組 ・発表 ・提出物 ・宿題 ・ノート ・定期テスト ・小テスト ・調べる力、まとめる力
<p>② 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識や資料を組み合わせ、多面的、多角的に考察することができるか。 ・自分の考えを整理して論理的に説明・発表できるか。 	<p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み ・学習課題への回答 ・発表 ・定期テスト
<p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象全般について関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいるか。 	<p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取組 ・発表 ・提出物（レポート） ・小テスト ・宿題 ・授業の振り返り

第3学年 数学科

1 数学科の学習で目指すこと

授業内での課題や問題に対して、既習内容との関連性を見つけ、課題解決や問題解決に向けて率先して自分から考えることを目指す。その中で、計算、関数、図形などへの理解を深め、数学的な思考を身に着けるとともに、新たな課題を発見する能力を育てる。

2 学習教材及び授業の進め方

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 新しい数学3（東京書籍） ・ワーク ・プリント 	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・ノート ・三角定規 ・コンパス
授業の進め方			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題を的確に把握し、課題に対して前向きに取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思ったことや、分からないことを解決する努力をする。 ・学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○ 自分の良いところを伸ばし、苦手なところにも挑戦する。 <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと・課題を解決できたことに自信を持つ。 			
学習に関する心構え			
<ul style="list-style-type: none"> ○ チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席して待つ。また、授業の準備を忘れない。 ○ 板書されたこと・気づいたことなどをノートに工夫してまとめておく。 ○ 先生の話や友だちの発表をしっかりと聞く。 ○ ファイル・ワークなどの提出物は、提出期限を守る。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予習・復習をしっかりとる。 ○ 宿題・提出物は途中式をかいて、しっかり仕上げる。 			

3 学習内容とねらい

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	1章 多項式	<ul style="list-style-type: none"> ○単項式や多項式の乗法・除法について理解し、計算ができる。 ○多項式や根号を含む式を分配法則や乗法公式を用いて計算ができる。
	2章 平方根	<ul style="list-style-type: none"> ○因数分解の意味を理解し、因数分解することができる。 ○平方根の加減乗除を含んだ式の計算ができる。
	3章 2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式の解を因数分解や平方根の考え、解の公式を使って問題を解くことができる。

2 学 期	4章 関数 $y = ax^2$	○事象の中から、 $y = ax^2$ の関係にある数量を見だし、式で表すことができる。 $y = ax^2$ のグラフとその特徴が理解できる。
	5章 相似な図形	○相似の性質や相似条件を理解し、相似な図形の性質を使って、対応する辺の長さを求めることができる。相似な図形の面積と体積を比の関係を使って求めることができる。
	6章 円	○円周角の定理や円周角の定理の逆が成り立つことの証明を考えることができる。 ○円と交わる直線でできる図形について、成り立つ性質を見だし証明することができる。
	7章 三平方の定理	○三平方の定理を証明し、三平方の定理を利用して、図形の長さや面積・体積を求めることができる。

3 学 期	8章 標本調査 3年間のまとめ	○標本調査の意味を知り、問題を解決しようとし、理解を深めることができる。
-------------	--------------------	--------------------------------------

4 学習評価の観点と評価規準等 ※今年度から全教科において3観点での評価となります。

評価の観点	評価規準・評価方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとの用語・計算の決まり・定理等を正しく理解できたか。 ・ 数学の基本的な技能を高めることができたか。 (評価方法) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小テストや定期試験 ・ 授業内での課題プリント
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習事項を使って課題を解決することができたか。 ・ 常によりよい解決方法を考え課題に取り組んでいたか。 (評価方法) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小テストや定期試験 ・ 授業内での課題プリント
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲的に学習することができたか。 ・ 挙手・発言を通して進んで自分の考えを表現しようとしたか。 ・ 提出物は期限を守って出せたか。 (評価方法) <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内での課題プリント ・ 課題レポート ・ ワークなどの家庭学習の取り組み

第3学年 理科

1 理科の学習で目指すこと

自然の事物・現象に進んでかかわり、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習教材及び授業の進め方

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「自然の探求 中学校理科3」 資料集 ワーク 授業用プリント、小テストプリント（随時配布）、復習用プリント（随時配布） 	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 資料集 のり ノート ファイル
授業の進め方			
<ol style="list-style-type: none"> ① 自然の事象に関連した学習内容を知る。 ② 自然の事象における基礎的な知識を身につける。 ③ 見通しをもった観察・実験を通して、自然の事象について調べる技能を身につけるとともに、科学的に考え、それを表現する。 ④ 学習を見通しをもって振り返り、自分自身の学習の仕方を調整しながら、次の授業に備える。 			
学習に関する心構え			
<ol style="list-style-type: none"> ① 学習する範囲の教科書を読み予習・復習を行う。 ② 教科書やノートで学習を振り返り、適宜ワークなどの練習問題等を行い、知識を定着させる。 ③ 自分自身の学習を見通しをもって振り返り、良い面や課題点を明らかにし、次の学習に生かす。 ④ 本、テレビ、インターネットなどを通して、日頃から自然の事象に関心を持ち科学的に考えようとする。 			

3 学習内容とねらい

	学習内容	学習のねらい
1学期	<生命の連続性> <ul style="list-style-type: none"> ・1章 生物の成長 ・2章 生物の殖え方 ・3章 遺伝の規則性 ・4章 生物の種類の多様性と進化 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の成長と殖え方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。
	<化学変化とイオン> <ul style="list-style-type: none"> ・1章 水溶液とイオン ・2章 酸・アルカリとイオン 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。

2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3章 電池とイオン <p><運動とエネルギー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1章 力の規則性 ・ 2章 力と運動 ・ 3章 仕事とエネルギー ・ 4章 エネルギーの移り変わり <p><地球と宇宙></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1章 天体の1日の動き ・ 2章 天体の1年の動き ・ 3章 月や惑星の動きと見え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 力のつりあいと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、エネルギーの変換について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・ 天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。
---------	--	--

3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4章 太陽系と恒星 <p><自然環境や科学技術と私たちの未来></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1章 生物と環境との関わり ・ 2章 自然環境と私たち ・ 3章 自然災害と私たち ・ 4章 エネルギー資源の利用と私たち ・ 5章 科学技術の発展と私たち ・ 終章 科学技術の利用と自然環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然界のつりあいや自然環境の調査と環境保全、地域の自然災害、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用について理解するとともに、それらを調べる観察、実験などに関する技能や自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身につける。
---------	--	--

4 学習評価の観点と評価規準等

評価の観点	評価規準・評価方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ●自然の事象に対しての知識を身につけている。 ●観察や実験における技能を身につけている。 <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小テストや定期試験 ・ 観察や実験への取り組みのレポート ・ 授業中の発言やノートの記述内容
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●自然の事象や実験結果を知識・技能を活用して分析して解釈することで、そこから分かる規則性や関係性を見出し、適切に表現している。 <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小テストや定期試験 ・ 観察、実験レポートの考察 ・ 授業中の発表 ・ 小グループでの話し合い活動
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ●自然に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の発表 ・ ノートの記述内容 ・ 観察、実験への取り組み ・ 観察、実験レポート ・ 振り返りによる自己評価

第3学年 英語科

1 英語科の学習で目指すこと

外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを主体的に理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図ろうとする資質・能力を養う。

2 学習教材及び授業の進め方

使用教材	・教科書 Sunshine 3 (開隆堂) ・ノート ・ジョイフルワーク ・リスニング教材 ・Bridge	持ち物	・教科書、ノート、ファイル、筆記用具、副教材、英語辞書 など
------	---	-----	--------------------------------

授業の進め方

【聞くこと】

英語の指示やリスニングを通して、英語の音声（発音やアクセントなど）を学習します。また、相手が話している内容が理解できるように学習します。

【話すこと】

授業中の会話活動を通して、日常的な話題や自分の考えなどを話すことができるように学習します。ALTとの会話を通して、自然なコミュニケーションの取り方を学習します。

【読むこと】

英語の音声を意識しながら読むことに慣れ親しみ、教科書などの内容理解ができるように学習します。

【書くこと】

英語で書くことに慣れ親しみ、自分の考えなどを英語で表現できるようにします。

【家庭学習について】

・授業で学んだことをその日のうちに復習しましょう。特に重要文はその日のうちに書けるまで練習し、基礎基本の定着を図りましょう。ワークは繰り返し取り組み、時間に余裕のある人は市販の問題集に取り組むことを勧めます。年度後半は長文や英作文に取り組むといいでしょう。

学習に関する心構え

- ①忘れ物は授業開始前に先生に申し出るようにしましょう。
- ②集中して授業に取り組みましょう。
- ③提出物は必ず提出しましょう。成績に大きく関わってきます。
- ④授業のグループ活動では自分以外の人の発表にも耳を傾けましょう。
- ⑤授業中の音読をしっかりとやりましょう。相手に伝わるように、大きな声ではっきり発音することを意識しましょう。正しい発音を意識すると、聞く力も伸びます。

3 学習内容とねらい

	学習内容	学習のねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> • 1 課 Bento are Interesting • 2 課 Good night. Sleep Tight • 3 課 A Hot Sport Day • 4 課 Sign Languages, Not Just Gestures! 	<ul style="list-style-type: none"> • ask tell want 人 to ~ / It is ~ for 人 to ~ / 主語+be 動詞+形容詞+that~の意味や働きを理解する。 • ask tell want 人 to ~ / It is ~ for 人 to ~ / を使用して表現する。 • 日本や海外の弁当文化についてほかの人に伝えるために、会話やブログを読んで概要や要点を捉える。 • 主語+動詞+人+疑問詞節 / 主語+動詞+人など+that の意味や働きを理解する。 • 主語+動詞+人+疑問詞節 / 主語+動詞+人など+that を使用して表現する。 • 睡眠が生活に与える影響についてほかの人に伝えるために会話文やネットの記事を読んで概要や要点を捉える。 • 主語+動詞+目的語+補語 / 主語+動詞+目的語+動詞の原形の意味や働きを理解する。 • 主語+動詞+目的語+補語 / 主語+動詞+目的語+動詞を使用して表現する。 • バasketボールの成り立ちや日本での人気についてほかの人に伝えるために会話やメールなどを読んで概要や要点を捉える。 • 分詞の後置修飾の意味や働きを理解する。 • 分詞の後置修飾を使用して表現する。 • ASL (アメリカ手話) についてほかの人に伝えるために会話文を読んで、概要や要点を捉える。

2 学期	<p><単元名></p> <ul style="list-style-type: none"> • 5 課 The Story of chocolate • 6 課 The Great Pacific Garbage Patch • 7 課 Is AI a friend or a enemy? 	<ul style="list-style-type: none"> • 関係代名詞 (主格) who / which / that の意味や働きを理解する。 • 関係代名詞 (主格) who / which / that を使用して表現する。 • チョコレートやフェアトレードについてほかの人に伝えるために、会話文やスピーチ原稿を読んで、概要や要点を捉える。 • 関係代名詞 (目的格) which / that / that / 省略の意味や働きを理解する。 • 関係代名詞 (目的格) which / that / that / 省略を使用して表現する。 • 海のプラスチックごみの問題についてほかの人に伝えるために、まとまりのある文を読んで概要や要点を捉える。 • 仮定法過去 / I wish+主語+仮定法過去の意味や働きを理解する。 • 仮定法過去 / I wish+主語+仮定法過去を使用して表現する。 • AI (人工知能) の現状と可能性をほかの人に伝えるために、会話
---------	--	--

		文や英文を読んで、概要や要点を伝える。
--	--	---------------------

3 学期	中学校の復習	・三年間の総復習をする。
---------	--------	--------------

4 学習評価の観点と評価規準等 ※今年度から全教科において3観点での評価となります。

評価の観点	評価規準・評価方法
① 知識・技能	<p>●英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト 小テスト ・授業中の発言 ・ワークシートの記述内容 ・ワーク ・ノート
② 思考・判断・表現	<p>●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について聞いたり、読んだり、伝え合ったり、話したり、書いたりしている。</p> <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト 小テスト ・授業中のコミュニケーション活動 ・授業中の発言 ・ワークシートの記述内容 ・スピーチ
③ 主体的に学習に取り組む態度	<p>●外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話してに配慮しながら、主体的に英語を聞いたり、読んだり、伝え合ったり、話したり、書いたりしている。</p> <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・発音練習 ・授業中のコミュニケーション活動 ・授業中の発言やワークシートへの取組 ・Check Sheet (振り返りシート)

第3学年 保健体育科

1 保健体育科の学習で目指すこと

「心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。」という目標を達成するために、まず「学ぶ意欲」を高めていく。そのことで自ら進んで活動し、個人（グループ）の課題（目標）を持って授業に取り組めるようになることを考える。そして、課題の解決をめざし、考え工夫する資質や能力を身につけ、健康・体力を向上させる。

【体育分野】

- 全体の動きに機敏性を持たせるために集団行動の徹底をはかる。
- 年間を通して準備運動を実施し、さらに補強運動をすることによって運動能力を高める。
- 忘れ物をなくし、見学でもジャージに着替える。
- 先生の指示をよく守り、安全に留意して運動する。
- 種目の評価基準や記録表などをつけて、意識を高める。実技の自己評価表などをつけることで、運動に対する意識を高める。

- 種目の特性やルールを理解する。（体育理論含む）

【保健分野】

- 授業で自分の身体や環境問題等について学習し、プリント等を活用することにより深みを持たせる。
- 定期テスト実施することにより、保健分野と体育理論の定着をはかる。

2 学習教材及び授業の進め方

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書 中学保健体育（大修館書店） • 資料集 中学体育実技 埼玉県版（大修館書店） 	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> • 中学体育実技 • 中学保健教科書 • 体育ファイル • 筆記用具 • はちまき • 短縄 • (水筒)
授業の進め方			
<p>授業の進め方</p> <p>① 授業で必要な用具を用意する。</p> <p>② 体育委員は授業が始まる前に号令をかけ、整列して待つ見学、欠席、忘れ物の報告をする。</p> <p>③ あいさつをして、準備運動をする。（体操・補強）</p> <p>服装について 1 服装は半袖・ハーフパンツ。（運動するのにふさわしい着方をすること）</p> <p>2 女子の髪は、長い場合は結ぶこと。</p> <p>3 11月からジャージ着用可 外種目に関しては手袋の着用 可</p> <p>※まず、授業を進めるにあたって必要なこと（準備・片付け・初歩的なルールなど）を覚える。基本的</p>			

なこと（動作や技術、戦術など）を練習する。さらに先生や友達のアドバイスを参考にしながら、自分（たち）の課題（目標）を解決していくために、自ら進んで取り組み、考え・工夫したりしながら協力して練習や試合、記録計測をしていく。

学習に関する心構え

- ①自分の能力を精いっぱい発揮し、最後まで粘り強く取り組む。
- ②日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしない。
- ③指示をよく聞いて仲間と協力して活動（準備、片付け、練習など）し、周りの安全を考えて取り組む。
- ④効果的で安全な活動をするため、基本的な事柄（服装や身なりを整えたり、運動種目規則を守るなど）に注意して取り組む。
- ⑤体操服：4月～10月頃は半袖、ハーフパンツを必ず着用する。11月～3月頃はジャージを着用しても構わない。※体調不良等、特別な理由がある場合は生徒手帳で連絡する。
- ⑥保健体育の教科書・図解体育・ファイル・なわとびは教室のロッカーにまとめておき、いつでも使えるようにする。

3 学習内容とねらい

学期ごとの学習内容とねらい（体育分野）

	学習すること	学習のねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ○器械運動 <ul style="list-style-type: none"> ・マット 跳び箱 ○陸上競技 <ul style="list-style-type: none"> ・短距離、リレー、ハードル ・跳躍、幅跳び ○水泳 <ul style="list-style-type: none"> ・平泳ぎ、クロール、背泳ぎ、自由種目 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体に関心を持ち、体力や生活に適した課題を持って、心と体をほぐす運動を行う。 ・今できる技についての、自分の課題を克服し、新たな技へ挑戦できる技能を身につけさせる。 ・自己の能力や適正を知り、運動種目を選択して、自らの記録へ挑戦できる技能を身につけさせる。 ・自己の能力や適正を知り、運動種目を選択して、自らの記録へ挑戦できる技能を身につけさせる。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり <ul style="list-style-type: none"> ・体力を高める運動 ○ダンス ○長距離走 ○武道 <ul style="list-style-type: none"> ・剣道 ○ハンドボール ○バレーボール ○バドミントン ○卓球 ○ソフトテニス 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体に関心を持ち、体力や生活に適した課題を持って運動を行い、体力を高める意欲を養う。 ・テーマにふさわしい個と集団の動きやはこびを工夫して発表できるようにさせる。 ・無駄のないフォームと効率の良いペースを科学的に考えさせる。 ・武道における伝統的な行動様式を身に付けさせるとともに、対人的な技能を身に付けさせる。 ・集団的スポーツの意義を理解させ、自分の得意な技能を習得させ、チームに貢献させていく。 ・対人的な技能を確実なものとし、練習や試合に応用できるようにさせる。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ソフト ○サッカー ○バスケットボール 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団的スポーツの意義を理解させ、自分の得意な技能を習得させ、チームに貢献させていく。

学習内容とねらい（保健分野）

	学習すること	学習のねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○感染症の予防と健康を守る社会の取り組み ・感染症と病原体 ・感染症と体の抵抗力 ・感染症の予防 ・性感染症とその予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の感染経路を学習し、その予防対策や日常生活上の留意点等を理解させる。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・保健機関とその利用 ・医療機関とその利用 ・医薬品の正しい使い方 ○健康と環境 ・環境の変化と適応能力 ・快適な環境 ・室内の空気の条件 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進や疾病の予防には、健康的な生活行動など個人が行う取組とともに、社会の取組が有効であることを理解させる。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の空気の条件 ・水の利用と確保 ・し尿・生活排水の処理 ・ゴミの処理 ・環境の汚染と保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境は健康にどのような影響を及ぼすのか、また健康のためには環境をどのように整える必要があるのか、どのように環境を保全していくのかを理解させる。

4 学習評価の観点と評価規準等 ※今年度から全教科において3観点での評価となります。

評価の観点	評価規準・評価方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目の基本的な技能が身についているか ・各単元における特性、技の名称や行い方を理解しているか (評価方法) ・技能テスト・観察・定期テスト
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を見つけられているか、自己の課題に応じた学習方法を選択できているか (評価方法) ・授業中の発言回数 ・学習カード ・レポートなど
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の楽しさや喜びを味わおうと公正や協力を意識して積極的に取り組むとともに、健康・安全に留意して取り組んでいるか (評価方法) ・観察・学習カード

第3学年 音楽科

1 音楽科の学習で目指すこと

- 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- 音楽の表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。
- 多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。

2 学習教材及び授業の進め方

使用教材	• 中学生の音楽2・3上 • 中学生の音楽2・3下 • 中学生の器楽 • コーラスフェスティバル	持ち物	• 音楽ファイル • 筆記用具 • アルトリコーダー
授業の進め方			
①歌唱活動 はじめに歌う時の姿勢や体の使い方を練習して体をほぐします。その後、発声練習を行うことで歌の基礎、基本を身につけていきます。			
②器楽活動 リコーダーでは、基本的な指使いを身につけるため、音階練習などを行ってから、曲の練習をします。			
③鑑賞活動 曲に対してどのように感じたのかを音楽の用語を用いて、言葉にしていきます。感じ取ったことを自分の言葉で表現出来るようにします。			
④創作活動 リズム遊びからリズム創作にチャレンジしますので、工夫する気持ちを持ち、自分だけの音楽を作っていきましょう。			
学習に関する心構え			
①忘れ物は授業開始前に先生に申し出るようにしましょう。			
②集中して授業に取り組みましょう。			
③演奏中は、真剣に演奏に取り組みましょう。			
④音楽が苦手でも、まずはやろうとしましょう。			
⑤みんなで1つの音楽を作り上げる楽しみを味わいましょう。			

3 学習内容とねらい

	学習内容	学習のねらい
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・歌唱活動 「花」 ・鑑賞活動 能 ・歌唱活動 「Let It Be」 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の授業の心構えを作る。 ・歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う。 ・日本の特徴的な音や伝統文化に親しみその特徴を感じ取りながら雅楽や能の音楽の特徴を文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 ・曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、表現を工夫する。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動 合唱祭の合唱曲 鑑賞活動 「ブルタバ」 「ボレロ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を味わい、パートの役割や旋律の音の動きを理解し、全体の響きを感じ取りながら表現を工夫して合唱する。・合唱を通して、合唱の響きの豊かさや美しさを感じ取らせると共に、表現の技術を伸ばし創造的な表現の能力を高める。 ・音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞活動 「ポピュラー音楽」 「世界の民族音楽」 ・歌唱活動 卒業式歌など 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なポピュラー音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ・人が生きていくうえでの音楽の力を感じ取り、積極的に音楽に親しむことが出来る。また、音楽を身近なものとして感じ音楽を愛好する気持ちを大切に、卒業する喜びを表現する能力を育てる。

4 学習評価の観点と評価規準等 ※今年度から全教科において3観点での評価となります。

評価の観点	評価規準・評価方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想や音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。 (評価方法) <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・実技テスト ・筆記テスト

<p>② 思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークシート • 授業中の観察 • 筆記テスト
<p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 授業中の観察 • ワークシート

第3学年 美術科

1 美術科の学習で目指すこと

- ①自然や身近なものなどのよさや美しさに対する関心を持つ心を育てる。
- ②感性や想像力を働かせ、自然や身近なものを観察し、良さや美しさを感じ取る力を身につける。
- ③自主的に表現意図に合う多様な表現方法を工夫し、美しく表す力を身につける。
- ④自然物、美術作品や生活の中の造形などに自主的に親しむ心を育てる。

2 学習教材及び授業の進め方

使用教材	・教科書 日本文教出版 美術2・3上、下	持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・色鉛筆、アクリルガッシュ、鉛筆（2B）、雑巾、他、題材によって異なる ・服装について 半袖・ハーフパンツ・ジャージ
------	----------------------	-----	---

授業の進め方

- ① 美術係は、学習カードを配布する。各自忘れ物をカードに記入する。
- ② 授業で必要な用具を準備する。
- ③ 本時の学習目標を学習カードに記入する。
- ④ 学習目標に沿って制作する。
- ⑤ 5～10分前に道具の片付けをして本時の振り返りを学習カードに記入する。

学習に関する心構え

- ① 入退室や、始業終業のあいさつをしっかりと行う。
- ② 話を良く聞き、本時の目標を理解する。
- ③ 授業準備を徹底する。（用具がなかったり、借り物であったりしては、自分の力を出しきれません。）
- ④ 意欲的に制作する。（制作する姿勢が作品に表れます。本当によい作品は真剣な態度から生まれます。）
- ⑤ 道具を大切に使う。
- ⑥ 作品などの提出期限を守る。
- ⑦ 美術の教科書を参考に題材の資料集めを自主的にこころがける。

3 学習内容とねらい

	学習内容	学習のねらい
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・銅板レリーフ画 ・水と筆を操る ・京都・奈良の文化に触れよう！！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・レリーフ表現を理解する。 ・造形的な効果から、構想を練り、デザインを工夫して制作する。 ・レリーフの技法を学ぶ。 ・墨の濃淡表現、線などの効果も考え、練習、体験する。 ・仏像や建造物の形や色彩、材料、光の効果などの特徴をもとに対象のイメージを捉え、鑑賞する。

2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・浮世絵はすごい ・きらめき ゆらめき日本の美 (修学旅行の思い出 屏風絵) ・ジャポニスム (ゴッホと日本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。 ・修学旅行の思い出の場面から、光の変化が感情にもたらす効果や、美しさなどから主題を生み出し、光や影、色彩などの効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して表現する。 ・ジャポニスムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え、表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通じた国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。
---------	---	--

3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・コルクコースター「卒業に向けての感謝や中学校の思い出を伝えるコースター」 ・なんでこれが美術なの？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・贈る人のイメージから色彩・形のイメージを構想することが出来る。 ・中学校の思い出をデザインし、色彩豊かに楽しく制作する。 ・現代美術に関心を持ち、物と場所、大きさ、形や色彩、制作の様子などに着目し、イメージを捉えるなどしながら、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める。
---------	---	--

4 学習評価の観点と評価規準等 ※今年度から全教科において3観点での評価となります。

評価の観点	評価規準・評価方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・題材により、基本的知識や技能を身に付け造形感覚や感性などを働かせ創意工夫し、創造的に表すことができているか評価する。 ・材料や用具の特性を生かし表現することができる。 <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート・作品
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・題材により、感じ取った特徴や美しさを主題に生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ・美術作品や文化遺産等に親しみ、感性や創造性を働かせて多様な表現の良さや美しさを感じ取り味わう。 ・自分や友達の作品を鑑賞し、造形的よさや美しさなど作者の心情や表現の意図と工夫を考え、見方や感じ方を広げて、鑑賞カードに書いている。 <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想のプリントやアイデアスケッチ、作品の構想力・鑑賞カード
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に構想を練り、意図に応じて工夫し表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 <p>(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに目標を記載することと、振り返りの記述内容、発言 ・主体的に取り組む態度、見通しを持ち計画的に制作する。 ・資料の収集、提出物

【第3学年 技術・家庭科】

技術・家庭科の学習でめざすこと

- 技術・家庭科は技術分野・家庭分野の2つから成り立っています。いずれも生活に必要な基礎的知識と技能を身に付けることにより、進んで生活を便利にしようと工夫し、豊かな生活を創造する能力を身につけ、実生活に生かしていける実践的な態度の育成を目指します。
- ・生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
 - ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
 - ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて生活を工夫し創造しようとする実践的な態度の養う

学習教材及び授業の進め方について

使用教材	教科書 技術・家庭（開隆堂） 副教材 技術家庭ノート（家庭分野）	持ち物	・教科書・ファイル・筆記用具 ・ネームペン ・裁縫セット・エプロン など
授業の進め方	<p>《授業について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント、技術家庭ノート、chromebook を使用して学習を進めます。 ・製作実習を行います。刃物や針、釘、発熱する物などを使用します。また大型機械を使用することがあります。 ・班単位でグループ活動することがあります。 ・技術と家庭科で隔週の授業になります。 <p>《定期テストについて》</p> <p>1学期1回（期末）、2学期1回（期末）、3学期1回（学年末）合計3回の定期試験を行います。試験は総合問題です。各領域の出題比率は学期によって変わります。</p> <p>《家庭学習について》</p> <p>自分の幼いころを振り返ってみましょう。</p>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に取り組みましょう。 ・授業準備は休み時間にしましょう。 ・提出物の期限は必ず守り、忘れ物をしないようにしましょう。 ・黒板に書かれた内容をプリントに写すだけでなく、メモや振り返りなどを書いてまとめましょう。 ・グループ学習では、自分の考え方を知ると同時に、他人がどのように考えているかを学習しましょう。 		

学習評価の観点と評価規準等

	評価の観点（主なもの）	評価方法
知識・技能	①技術・家庭に関する用語を覚えたか。 ②技術・家庭に関する用語の説明ができるか。 ③しくみや工程を理解し、作業を効率良く進めることができる。 ④様々な技術を習得し、それらを活用することができる。	作業 作品 定期テスト（知識・技能部分）
思考・判断・表現	①技術について適切に評価できたか。 ②学んだ技術を生活の中で活用することができるようになったか。 ③製作に必要な道具を適切に選択できるか。 ④学び得たことから、よりよいものになるように改善及び修正を考えることができる。	プリント 作品 定期テスト（思考・判断力・表現力部分）
主体的に学習に取り組む態度	①進んで技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしているか。 ②自分の新しい考え方や捉え方によって解決策を構想しようとしている。 ③提出物は抜けが無く、期限を守って提出できたか。	授業態度 プリント 作品・定期テスト 定期テスト（関心・意欲部分） 提出物

学習計画	
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御による問題解決について ・幼児の生活と家族
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決について ・幼児とのかかわり ・家庭生活と地域のかかわり
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術の評価と活用について ・消費生活・環境
<p>上記の教材を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」について学習します。</p>	